



がっこう 学校だより

がっこう
11月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわ ねん がつ にち
令和3年10月29日
よこはまし りつかみい だ しょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiiida/>

みづか まな こ すがた 自ら学ぶ子どもの姿をめざして

ふくこうちょう たなべ よういち
副校長 田邊 洋一

こうまじぎょうしき がっこうちょう こうましん ものごと たんきゅう はなし わたし
後期始業式に、学校長より「好奇心」をもって物事を探究してほしいという話がありました。私
は、その言葉に学生の頃の思い出があったため、改めてその意味を辞書で調べてみることにしまし
た。すると、「珍しい物事、未知の事柄に対する興味」と書かれていました。まさにそれは、子ども
が主体的に学び続ける源となる感情であり、学校教育において大切にしたいものだと思います。

かみいだしょうがっこう しぜんゆた かんきょう きせつ へんか ども
上飯田小学校には、自然豊かな環境があります。季節の変化と共に、
わたし こうましん みじか しょくぶつ い もの む げ かんちゅう きれい
私の好奇心は身近な植物や生き物に向かいます。わた毛(冠毛)が綺麗
な球形になっているたんぽぼを見つけると思わず嬉しくなり、その様子
をじっくりと観察してしまいます。高く伸びた花軸の先には、たくさんの
種のようなものがぎっしりとつまっています。調べてみると、それはたん



ぽぼの果実(瘦果)で、その中に種子が入っており、その数は約200個もあるそうです。それを知っ
て、私は考えました。仮に、すべての種子が発芽したら、翌年の春には約40000本のたんぽぼが
咲き、またその翌年には約8000000本のたんぽぼが咲くはずで、子ども達が入學してから
卒業するまでの6年間では、実に約640000000000(64兆)本まで増えることにな
ります。しかし、実際には、発芽できない種子もあるでしょうから、それほどたくさんのたんぽぼが咲
くことはありません。しかし、改めてその生命力に驚きを感じました。きっと様々な自然環境の中
で、たんぽぼが命をつなぐために獲得してきた仕組み(たんぽぼのちえ)なのでしょう。

さて、本校の子ども達は、家庭での学習として自主学習に取り組んでいます。子ども自身が好奇心
をもって身の回りの自然事象や社会的事象に目を向け、興味・関心をもったことを探究するよい機会
であり、その過程を通して主体的に学ぶ姿勢や計画的に見通しをもって学習する力を伸ばしていっ
てほしいと私は願っています。そのためにも、子ども達の好奇心を大切にし、調べたり考察したりす
る姿を私たち大人が認め、褒めていきたいと思えます。

「どうして動くプランクトンと動かないプランクトンがいるの。」

「バッタは、どこを持ったらしいの。」

かみいだしょうがっこう きょうしつ こうてい こ たち こうましん ことば きこ
上飯田小学校では、教室や校庭から子ども達の好奇心あふれる言葉が聞こえてきます。